



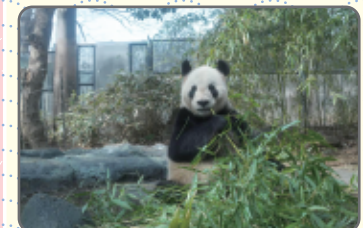
新ジャイアントパンダが上野にやってきた

上野動物園 黒鳥 英俊

2月21日に来園した2頭のジャイアントパンダは3月11日の東日本大震災に遭遇しましたが、いまでは上野の環境にも慣れ、中国にいるのと変わらない生活を送っています。大震災の影響で一時休園していたため、公開が遅れていましたが、4月1日から一般公開されました。初日から多くの方が訪れ、パンダ舎前には長蛇の列ができるほどでした。

オスのリーリーとメスのシンシンは屋外の展示場でも元気に動き回り、2頭が目の前で竹を食べる様子にしばしば歓声があがります。この2頭は以前飼育していたパンダよりも驚くほど多くの竹を食べます。エサの調達が大変で4種類の竹を毎週800キロも入れています。

ちょうど一般公開をはさんだ春の時期は実はパンダの繁殖シーズンにあたります。パンダの発情はふつう一年に一度3月から5月ですが、春に妊娠しなかったメスは秋に発情することもあります。動物園でもみな2頭の繁殖を待ち望んでいました。3月下旬にメスのシンシンに発情兆候が現れたのですが、あまり強い兆候ではなかったため、トラブルをさけてオスと一緒にしませんでした。残念なことに、その後発情兆候は弱くなりました。まだ若い2頭、次回は繁殖に適した時期にうまく一緒にして繁殖につなげていくつもりです。



【カメラを見つめるリーリー】



【元気に歩き回るシンシン】

～動物園の“かお”～

多摩動物公園 「ブルーム(メス)」
シロオリックス 平成23年4月6日生まれ

母親ブランチの頭文字のBをとり、サクラが咲き始めた頃に生まれたので、ブルームと名づけました。早く会いに来てほしいね。

写真 4月13日撮影



みんなのために
連続立体交差事業
を推進します。

連続立体交差事業とは??? 鉄道を一定区間高架化または地下化し、多数の踏切の除却と交差道路との立体化を一挙に実現する事業です。

事業による効果

- 交通の円滑化 ⇒ ● 踏切がなくなり、交通渋滞が解消します!
- 安全性の向上 ⇒ ● 踏切事故がなくなり、道路と鉄道それぞれの安全性が向上します!
- 地域の発展 ⇒ ● 鉄道により分断されていた市街地が一体化し、地域の活性化に強いインパクトを与えます!
- 利便性の向上 ⇒ ● 各駅にエレベーター、エスカレーターが設置され、誰もが快適に利用できるようになります!
- 新たに生み出される高架下等の空間の有効利用ができます!

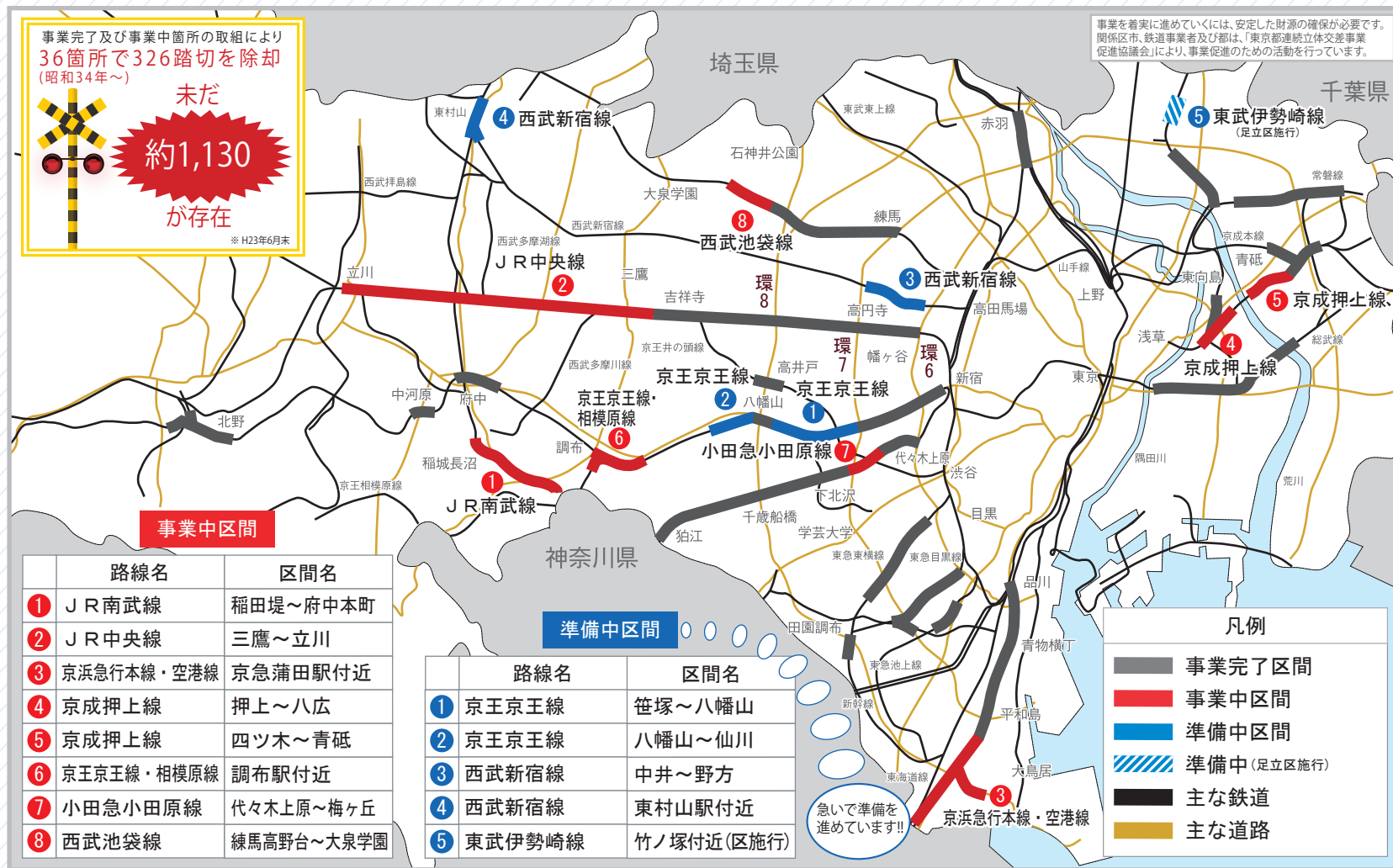
踏切をなくして、**イライラ**を解消
まちがひとつに、みんなが**笑顔**に!

—慢性的な交通渋滞は東京の深刻な課題—



救急車も遮断した踏切は通れない!

開かずの踏切に誰もがイライラ!



8 西武池袋線

事業区間: 練馬高野台駅～大泉学園駅
延長: 2.4 km
除却踏切数: 9箇所(6箇所除却済)

7 小田急小田原線

事業区間: 代々木上原駅～梅ヶ丘駅
延長: 2.2 km
除却踏切数: 9箇所

6 京王京王線

事業区間: 調布駅付近
延長: 3.7 km
除却踏切数: 18箇所

5 京成押上線

事業区間: 四ツ木駅～青砥駅
延長: 2.2 km
除却踏切数: 11箇所